



# 軽防協ニュース速報

## 2024 年第 3 四半期(7 月-9 月)の伝染病発生状況

2024 年 11 月配信

(International Collating Centre からの情報)

### ICC の概要

International Collating Centre (ICC) は、35 年以上にわたり、世界的な馬の疾病発生データを収集しており、Equine Infectious Disease Surveillance (EIDS) によって監視されている。ICC は国際馬術連盟、国際サラブレッド生産者連盟のメンバー、日本中央競馬会、ランウェイズスタッドからの寄付によって、多大な支援を受けています。

ICC は国内および国際的な馬の疾病発生を毎日電子メールで報告している。報告を受け取るには [equinesurveillance@vet.cam.ac.uk](mailto:equinesurveillance@vet.cam.ac.uk) までご連絡ください。ICC ビューアー Web サイトでは、詳細でインタラクティブなレポートを提供している。利用者は国または地域別にデータを分析し、特定の日付範囲と条件を選択して、報告された発生の概要を表示できる。<https://equinesurveillance.org/iccview/>にアクセスしてください。

### レポートの概要

この記事は 2024 年第 3 四半期の各国の伝染病発生状況の要約したものである。また、ICC 暫定 (リアルタイム) レポートでは報告されなかった国における疾病発生状況の追加情報も含まれている。この追加情報は、本レポートの表と本文の該当する箇所に # 印を付して示されている。

このレポートに示されているデータは慎重に解釈する必要がある。サンプルが各国の研究所に提出され、その後報告に至るまでの方法に多少のバイアスがあるかもしれない。そのため、これらのデータが必ずしも世界各地における馬の集団内での伝染病発生率を的確に反映しているわけではない。

疾病の発生が報告されていない国は、必ずしもその国でその疾病が存在していないということではない。各表は国によって報告された病気の発生件数をまとめたものであり、1 件の発生で複数頭を含むものがある。

### **レポートは疾患区分別に記載する。**

- ・繁殖疾患
- ・呼吸器疾患
- ・消化器疾患
- ・神経疾患
- ・その他の疾患

## 繁殖疾患

発生国	CEM	EHV-1	EHV-3
フランス	-	-	2
ドイツ	1	-	-
日本	-	1 <sup>#</sup>	-
南アフリカ	-	2 <sup>#</sup>	-
スウェーデン	-	1	-
スイス	-	-	1

<sup>#</sup>四半期後に報告があった追加情報

### 馬伝染性子宮炎 (CEM)

#### ドイツ

ニーダーザクセン州の17歳の牡馬でCEMが報告された。尿道窩、尿道および包皮表面から採取したスワブでPCRおよび培養を行い、陽性であることが確認された。

### 馬ヘルペスウイルス1型 (EHV-1) による流産

#### #日本

四半期終了後、1頭が報告された。陽性診断はPCRで確認された。

#### #南アフリカ

四半期終了後、ハウテン州（1頭）とクワズール・ナタール州（1頭）において2件が報告された。

#### スウェーデン

スコーネ県エンゲルホルムにおいて1頭が報告された。PCR法で陽性が確認された。

### 馬ヘルペスウイルス3型 (EHV-3) 馬瘡疹

#### フランス

カルヴァドス県とドルドーニュ県で単独感染がそれぞれ1件報告された。1頭は性器スワブ、もう1頭はスワブのPCRで陽性と診断された。

#### スイス

グラールス州で1頭報告された。臨床症状として発熱、掻痒、膣の発疹および分泌物を示した。陽性診断はPCRで確認された。

## 呼吸器疾患

発生国	EHV-1	EHV-4	EHV-5	EI	ロドコツカス	腺疫	S.zoo
ベルギー	-	-	1	1	-	-	-
カナダ	-	-	-	1	-	7	-
フランス	2	7	-	-	16	17	-
ドイツ	-	1	-	1	-	1	-
アイルランド	-	-	-	-	27	-	-
オランダ	8	13	-	1	28	37	-
南アフリカ	3 <sup>#</sup>	-	-	-	-	-	-
スウェーデン	-	-	-	-	-	3	1
スイス	-	-	-	-	-	4	-
イギリス	1	5	-	10	-	-	-
アメリカ	1	-	-	2	-	18	-

<sup>#</sup>四半期後に報告があった追加情報

### 馬ヘルペスウイルス1型 (EHV-1) による呼吸器感染症

#### フランス

2 件の単独感染がマイエンヌ県とヴァール県で報告された。ヴァール県では 14 歳の雌ロバが感染した。陽性診断は鼻咽頭スワブまたは鼻腔スワブの PCR で確認された。

#### オランダ

フリースラント州、ヘルデルラント州、オーファーアイセル州において 8 頭報告された。陽性診断は PCR 法で確認された。

#### #南アフリカ

四半期終了後、3 頭がフリーステート州 (1 頭) とハウテン州 (2 頭) で報告された。

#### イギリス

EHV-1 と *Streptococcus zooepidemicus* の混合感染が 1 件ノーフォーク州におけるワクチン未接種の 31 歳ウェルシュ・マウンテン・ポニーの馬で報告された。臨床症状として鼻汁がみられた。鼻腔スワブの PCR で陽性と診断された。

#### アメリカ

ノースダコタ州においてワクチン未接種の 2 歳クォーターホース種牝馬 1 頭が報告された。臨床徴候は横臥、発熱、鼻汁であった。

### 馬ヘルペスウイルス4型 (EHV-4) による呼吸器感染

#### フランス

以下の地域において 7 件の単独感染が確認された：ブーシュデュローヌ県、カルヴァドス県、シャラントマリタイム県、サルト県、ヴァール県、イブリーヌ県。臨床症状とし

て、咳、リンパ節腫脹、鼻汁、発熱が見られた。陽性診断は、鼻咽頭スワブまたはスワブのPCRによって確認された。

### **ドイツ**

シュレースウィヒ・ホルシュタイン州において1頭報告された。鼻腔スワブのPCRで陽性と診断された。

### **オランダ**

以下の州で13件の単独感染が報告された：ドレンテ州、フリースラント州、リンブルグ州、ノールトブラバント州、ノールトホラント州、ゾイトホラント州、ユトレヒト州。陽性診断はPCRで確認された。

### **イギリス**

5件報告された。カンブリア、ハートフォードシャー、サフォーク、ウォリックシャーにおける4件は単独感染であり、うち1件は*Streptococcus zooepidemicus*の混合感染であった。ノーフォーク州では1施設で2頭の発生が認められた。臨床症状には、不活発、横臥、リンパ節腫脹、鼻汁、眼脂、発熱などがあつた。鼻咽頭スワブのLAMP、鼻腔スワブのPCR、鼻咽頭スワブのPCRにより陽性と診断された。

## **馬ヘルペスウイルス5型 (EHV-5) による呼吸器感染**

### **ベルギー**

フラムス・ブラバント州において1頭が報告された。臨床症状は咳と鼻汁であつた。鼻腔スワブのPCRで陽性診断が確認された。

## **馬インフルエンザ (EI)**

### **ベルギー**

EHV-2との混合感染を伴う症例が、エノー州においてワクチン未接種の13歳馬で報告された。臨床症状は咳、リンパ節腫脹、鼻汁、発熱であつた。鼻腔スワブのPCRで陽性と診断された。

### **カナダ**

オンタリオ州において5歳のクォーターホース牝馬1頭が報告された。この牝馬は発熱、鼻汁、軽度のリンパ節腫脹、咳の臨床症状を示す数頭のうちの1頭であつた。これらの馬群においてワクチン接種の有無はさまざまであつた。

### **ドイツ**

シュレースウィヒ・ホルシュタイン州の牝馬1頭が報告された。鼻腔スワブのPCRで陽性と診断された。

### **オランダ**

オーファーアイセル州で1頭報告された。PCRで陽性と診断された。

### **イギリス**

10件が報告された。9件は以下の施設における単独感染であつた：フリントシャー、ケント、マンチェスター、ノーフォーク、ノースヨークシャー、スタッフォードシャー、ウ

オリックシャー、ウエストヨークシャー。1件はケントの1施設で3頭が発生した。臨床症状としては、咳、食欲不振、リンパ節腫脹、鼻汁、眼脂、発熱などがあった。7件の罹患馬はワクチン未接種であった。8件では、最近輸入されたもの、地域の競技会に参加、新入厩、もしくは施設内外に出入りした馬たちであった。陽性診断は鼻咽頭スワブのPCRで確認された。

## **アメリカ**

オレゴン州とワシントン州で単独感染が2件報告された。臨床症状は咳と鼻汁であった。

## **ロドコッカス・エクイ**

### **フランス**

16件が報告された。そのうち14件はカルヴァドス県、イルエビレーヌ県、オルヌ県、ローヌ県、タルヌ県、バルドマルヌ県、イブリーヌ県における単独感染である。カルヴァドス県の2施設においてはそれぞれ2頭が感染した。陽性診断は気管洗浄液または鼻咽頭スワブのPCRで確認された。

### **アイルランド**

27頭が報告された。15頭は生前検査で陽性が確認され（PCR7頭、培養6頭、培養とPCR両方陽性2頭）、12頭は死後検査で陽性が確認された。

### **オランダ**

以下の地域で単独感染28件が報告された：ドレンテ州、フリースラント州、ヘルデルラント州、リンブルグ州、ノールトブラバント州、オーファーアイセル州、ゾイトホラント州、ユトレヒト州。陽性診断はPCRで確認された。

## **腺疫**

### **カナダ**

7件が報告された。6件はオンタリオ州内の異なる施設における単独感染、1件は同じくオンタリオ州内の施設における3頭の感染であった。臨床症状は、膿瘍、咳、鼻汁、発熱、下顎リンパ節の腫脹などであった。

### **フランス**

17件が報告された。そのうち12件は以下の地域における単独感染である：アリエージュ県、コートダルモール県、ブーシュデュローヌ県、オードセーヌ県、アンドルエロワール県、ロワールアトランティック県、パドカレー県、ピュイドーム県、ローヌ県、イブリーヌ県。ロワールアトランティック県とソーヌエマルヌ県ではそれぞれ2頭が感染した。シャラントマリタイム県の1施設では3頭が感染した。ドローーム県の1施設では7頭、シャラントマリタイム県の1施設では8頭が感染した。臨床症状は咳、リンパ節腫脹、鼻汁、発熱などであった。陽性診断は鼻咽頭スワブ、鼻腔スワブまたは膿性鼻汁によるPCRで確認された。

### **ドイツ**

スイスとの国境付近において 1 件報告された。臨床症状には呼吸器症状も含まれていた。陽性診断は PCR で確認された。

#### **オランダ**

以下の地域で 37 件が報告された：ドレンテ州、フレボラント州、フリースラント州、ヘルデルラント州、フローニンゲン州、リンブルグ州、ノールトブラバント州、オーファーアイセル州、ゾイトホラント州およびユトレヒト州。陽性診断は PCR で確認された。

#### **スウェーデン**

ウプサラ県内の 3 施設において 3 件の発生が報告された。

#### **スイス**

4 件の発生が報告された。そのうち 3 件はベルン州、ウンターヴァルデン州、ザンクトガレン州における単独感染で、ゾロトゥルン州における 1 件は感染頭数が明らかになっていない。臨床症状は発熱と呼吸器症状であった。陽性診断は PCR で確認された。

#### **アメリカ**

18 件が報告された。そのうち 17 件はフロリダ州、ミシガン州、ミズーリ州、オハイオ州、ワシントン州における単独感染である。フロリダ州の 1 施設では 3 頭が感染した。臨床症状としては、咳、食欲不振、下顎膿瘍、鼻汁、発熱、リンパ節の腫脹などであった。

### **Streptococcus zooepidemicus**

#### **スウェーデン**

セーデルマンランド県で 1 頭報告された。

## 消化器疾患

発生国	馬コロナウイルス	ロドコッカス	サルモネラ症
カナダ	-	-	1
フランス	-	4	-
オランダ	1	-	8

### コロナウイルス

#### オランダ

ゾイトホラントにおいて1頭が報告された。PCRで陽性と診断された。

### ロドコッカス

#### フランス

4件が報告された。そのうち3件はアルデンヌ県、ブーシュデュローヌ県、オルヌ県における単独感染である。1件はアンドル県における1施設で2頭が感染した。陽性診断は糞便の細菌学的検査で確認された。

### サルモネラ症

#### カナダ

ケベック州の牝子馬で1頭確認された。臨床症状として、咳、横臥、食欲不振、下痢、体重減少がみられた。

#### オランダ

8件が報告された。アルメロー州、フリースラント州、ノールトホラント州、オーファーアイセル州における単独感染であった。陽性診断はPCRで確認された。

## 神経疾患

発生国	EEE	EHV-1	ライム病	WNV
カナダ	24	-	-	10
フランス	-	-	-	38
ドイツ	-	-	-	14
南アフリカ	-	1#	-	-
スウェーデン	-	2	-	-
スイス	-	-	1	-
イギリス	-	1	-	-
アメリカ	51	1	-	85

#四半期後に報告があった追加情報

### 東部馬脳炎 (EEE)

#### カナダ

オンタリオ州とケベック州において単独感染 24 件が報告された。臨床症状としては、精神状態の変化、運動失調、失明、頭部圧迫、眼振、痙攣、横臥、起立不能、不活発、無気力、抑うつ、発熱、心拍数増加、毛細血管再充填遅延、唾液分泌、口から泡を吹く、などが見られた。

#### アメリカ

51 件が報告された。そのうち 50 件が以下の地域における単独感染であった：アラバマ州、アーカンソー州、フロリダ州、メイン州、マサチューセッツ州、ミシガン州、ミシシッピ州、ニューハンプシャー州、ニュージャージー州、ニューヨーク州、ペンシルベニア州、ロードアイランド州、テネシー州、テキサス州、バージニア州、ウィスコンシン州。臨床症状としては、運動失調、失明、旋回、威嚇反応遅延、頭部圧迫、後肢脱力、顔面麻痺、筋痙攣、眼振、痙攣発作、横臥、硬直、動きたがらない、よろめき、不活発、発熱などを示した。

### 馬ヘルペスウイルス 1 型 (EHV-1) による神経疾患

#### #南アフリカ

四半期終了後、東ケープ州において 1 頭が報告された。

#### スウェーデン

ストックホルム県とイエムトランド県において単発症例が 1 件ずつ報告された。臨床症状としては、尾の脱力、腹部膨満、起立不能、後肢の脱力、仰臥、一過性の神経症状などがみられた。1 件では EDTA-血液を用いた PCR で陽性と診断された。

#### イギリス

ウェールズの1施設で3頭の感染が報告された。臨床症状には運動失調、排尿困難、横臥、硬直した歩行などがあった。1頭は安楽死処置がとられた。陽性診断は血液のCF試験と鼻咽頭スワブおよびヘパリン血液のPCRで確認された。

## **アメリカ**

カリフォルニア州においてワクチン接種済2歳サラブレッド1頭が報告された。この子馬は神経症状が改善しなかったため、安楽死処置がとられた。

## **ライム病**

### **スイス**

アールガウ州において単独感染が1件報告された。臨床症状は、発熱と不特定な中枢神経症状であった。C6抗体の定量的測定により陽性と診断された。

## **ウエストナイルウイルス (WNV)**

### **カナダ**

ケベック州、オンタリオ州において10件の単独感染が報告された。臨床症状としては、発熱、運動失調、攻撃性、横臥、頭部の振戦、前肢の過緊張、無力症、ナックリング、不活発、筋収縮、口輪の痙攣、後肢の脱力、その他の神経症状がみられた。

### **フランス**

38件が報告された。そのうち37件は以下の地域で発生した：ブーシュデュローヌ県、シャラントマリタイム県、コルスデュシュド県、ガル県、グアドループ県、オートコルス県、サルト県、ロゼール県、ヴァール県、バンデー県。臨床症状としては、食欲不振、運動失調、横臥、移動困難、疲労、倦怠感、起立不能、麻痺、パフォーマンス低下、発熱、硬直、発汗、震え、流産、衰弱などを示した。

### **ドイツ**

ブランデンブルク州、ハンブルク州、ニーダーザクセン州、ラーデブルク州、シュレーズウィヒ・ホルシュタイン州において14件の単独感染が報告された。陽性診断はELISAまたはウイルス分離のいずれかによって確認された。

### **アメリカ合衆国**

85件が報告された。そのうち80件は以下の地域における単独感染であった：カリフォルニア州、コロラド州、デラウェア州、フロリダ州、ジョージア州、アイダホ州、インディアナ州、ケンタッキー州、メリーランド州、ミシガン州、ミネソタ州、ミズーリ州、ネバダ州、ニューヨーク州、ノースダコタ州、オクラホマ州、オレゴン州、ペンシルベニア州、テキサス州、ユタ州、ウィスコンシン州。デラウェア州、インディアナ州、ペンシルバニア州における3件では2頭が感染した。ペンシルバニア州における2件ではそれぞれ4頭、5頭が感染した。臨床症状としては、運動失調、沈鬱、鈍い精神状態、顔面痙攣、後肢脱力、視覚刺激への過敏反応、触覚過敏、痙攣性運動過多、協調運動障害、筋収縮、発熱、横臥、脱力感などがみられた。

## その他の疾患

発生国	AHS	アナプラズマ症	EIA	EVA	レプトスピラ症
ベルギー	-	-	1	-	-
ホンジュラス	-	-	-	-	-
ケニア	1	-	-	-	-
オランダ	-	-	-	-	-
ポルトガル	-	-	-	1	-
Saintlucia	-	-	-	-	-
南アフリカ	5 <sup>#</sup>	-	-	-	-
スイス	-	1	-	-	2 <sup>#</sup>
アメリカ	-	-	7	-	-

<sup>#</sup>四半期後に報告があった追加情報

発生国	新世界ラセンウ ジバエ	ハト熱	ピロプラズマ症	馬ポトマック熱
ホンジュラス	1	-	-	-
オランダ	-	-	2	-
Saintlucia	-	-	1	-
南アフリカ	-	-	63 <sup>#</sup>	-
アメリカ	-	1	-	2

<sup>#</sup>四半期後に報告があった追加情報

### アフリカ馬疫

#### ケニア

ナイロビの1施設において1件2頭の感染が報告された。1例目は、ミオートニ・ロードにあるカレン・ジョッキークラブで発生し、2頭目はケニア競馬場ジョッキークラブで発生した。検査の結果、典型的なAHSの臨床症状と剖検所見が認められた。

#### #南アフリカ

AHSは、西ケープ州のAHS管理地域を除き、南アフリカの風土病である。四半期終了後、以下の3つの州において報告された：東ケープ州（1頭）、クワズール・ナタール州（2頭）、リンポポ州（2頭）。

### アナプラズマ症

#### スイス

ライム病（*Borrelia burgdorferi* 感染）とアナプラズマ症（エーリキア症）の混合感染1症例がボー州で報告された。アナプラズマ症はPCRで、ライム病はウェスタンブロットで陽性が確認された。

## 馬伝染性貧血

### ブルガリア

1 頭がヴィディン州で報告された。ELISA で陽性が確認された。

### アメリカ合衆国

7 件が報告された。そのうち 6 件はネブラスカ州とテキサス州で発生した単独感染であった。1 件はニューメキシコ州で 4 頭が感染した。

## 馬ウイルス性動脈炎

### ポルトガル

リスボンのオタのキンタ・ダ・トーレにおいて 1 頭報告された。陽性診断は PCR 法で確認された。

## レプトスピラ症

### スイス

ソロトゥルン州において 1 頭報告された。PCR により陽性であることが確認された。# 四半期終了後、アールガウ州でさらに 1 頭報告された。尿の PCR により陽性と診断された。

## 新世界ラセンウジバエ

### ホンジュラス

新世界ラセンウジバエ (*Cochliomyia hominivorax*) の発生が報告され、チョルテカ県エル・トリウンフォ地方の 1 施設で 3 頭が感染した。幼虫の形態学的特徴により *Cochliomyia hominivorax* と同定された。

## ハト熱

### アメリカ合衆国

ワシントン郡でハト熱 (*Corynebacterium pseudotuberculosis* による感染) が 1 頭報告された。

## 馬ポトマック熱

### アメリカ合衆国

メリーランド州、ワシントン州においてそれぞれ単独感染が 2 件発生した。

## ピロプラズマ症

### オランダ

ノールトブラバント州とユトレヒト州においてピロプラズマ症 (*Theileria equi*) の 2 件の単独感染が報告された。

## セントルシア

グロス・アイレットで1頭報告された。CF試験により陽性と診断された。

## #南アフリカ

ピロプラズマ症は南アフリカにおいて風土病とみなされており、四半期終了後、南アフリカの9つの州のうち8つの州から症例が報告された。*B.caballi*と*T.equi*が以下のとおり報告された：*B.caballi*：クワズール・ナタール州（1頭）、西ケープ州（1頭）。*T.equi*：東ケープ州（1頭）、フリーステート州（1頭）、ハウテン州（31頭）、クワズール・ナタール州（6頭）、リンポポ州（1頭）、ムプマランガ州（3頭）、ノースウエスト・プロヴィンス州（2頭）、西ケープ州（16頭）。